



マネー・企業情報

ビジネス・IT

住まいを探す

生活を楽しむ

キャリアと教育

話題

トップ 主要 経済 企業 株・為替 国際 政治 社会 スポーツ 新製品 社説・春秋 おくやみ ネットPLU

社会

おくやみ

## 統合失調症の新たな原因遺伝子発見 岐阜薬科大など

岐阜薬科大の原英彰教授は14日、精神疾患の1つである統合失調症の原因遺伝子をマウスの実験で新たに見つけたと発表した。岐阜薬科大など5大学と1研究機関の共同研究の成果で、発症の仕組みの解明や新薬開発につながると期待している。14日付の米オンライン科学誌プロスワンに掲載された。

この遺伝子は細胞の成長や分化に関与し、細胞増殖因子「HB—EGF」と呼ばれる。前脳でHB—EGFが働かないようにしたマウスを作った結果、情報処理障害、コミュニケーション能力や記憶力の低下、運動量増加などといった統合失調症患者に特徴的な症状がみられた。

これまでも統合失調症の原因遺伝子はいくつか発見されているが、これだけ多数の症状にかかわる遺伝子はほとんどないという。研究グループは今後、医療機関と連携し臨床試験に取り組む。(14日 21:44)